

5日目 7月17日

会 場: 松江市営野球場

第2試合		～2回戦～																	
T E A M		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
安 来		0	0	0	0	0	0	1	0	0							1	7	1
隠 岐		0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	5	1
(投手―捕手)																			
・ (安)		山崎 ― 吉田																	
・ (隠)		永海天 ― 岡田																	
(長 打)		(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)					
・ (安)		山坂						増田											
・ (隠)																			
(審判)〔球審〕筑後		〔一塁〕林				〔二塁〕三宅				〔三塁〕瀧隆									
(チーム成績)																			
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	バ	逸	打妨	
(安)	36	7	1	1	1	0	8	2	0	2	8	1		1	0	0	0	0	
(隠)	34	5	0	0	0	0	7	3	3	1	7	0		1	0	0	0	0	

「隠岐、3年生のみの奮闘実らず」

大会5日目松江会場の第2試合は安来と隠岐の対戦となった。隠岐は3年生のみの11人での試合となった。

試合は1点を争う投手戦になった。1回は両者得点圏に走者を置くも後続が続かず得点出来ない。2回表、安来は相手失策とヒットエンドラン、盗塁で1死2・3塁と好機を作るが、隠岐の先発永海天が連続三振を奪い得点を許さない。安来は4回表にも、1死満塁の好機を作るが、スクイズをファールで防がれると結局空振り三振に倒れると、セフティーバントを仕掛けるが相手投手の守備に阻まれ得点出来ない。

一方、隠岐も6回裏、2本の安打と犠打で1死1・3塁と好機を作ると、一邪飛で2死となるが、四球を選び2死満塁となるが後続も打ち取られ得点出来ない。試合が動いたのは7回表、安来はこの回先頭の増田が右中間への3塁打で無死3塁と好機を作る。しかし、後続が打ち取られ2死3塁となり、迎えた1番上田の詰まった当たりが二塁手への内野安打となり先制点を挙げた。試合はそのまま9回まで進み、最後は隠岐の打者が空振り三振に倒れ試合終了となった。隠岐は幾度となく訪れるピンチを投手の永海天を中心によく守り、3年生の意地を存分に見せた。

[illegible][illegible][illegible]